

北海道地域福祉学会 2019 年度 第 2 回定例研究会

北海道胆振東部地震の被災者ニーズの変遷から見た

被災者支援の現状と課題

～35 回におよぶ情報共有会議のアーカイブから～



講師：北海道 NPO サポートセンター 定森 光氏

2020 年 2 月 15 日（土） 14:00～16:00

参加費

会員 500 円 非会員 1,000 円 学部生無料

会場

北星学園大学 C 館第 5 会議室

主催：北海道社会福祉学会 共催：日本地域福祉学会北海道部会

後援：社会福祉法人北海道社会福祉協議会（予定）一般社団法人 Wellbe Design

お申込み QR コード →



【研究会開催のねらい】

2016年に発生した台風10号による豪雨災害や昨年9月6日に発生した胆振東部地震など、近年は北海道においても大規模な災害が発生しており、災害からの復旧・復興に向けた活動は今もなお展開されています。全国的にも相次いで発生する大規模災害からの教訓を踏まえ、厚生労働省では2018年3月に「災害時健康危機管理支援チーム（DHEAT）活動要領」、同年5月には「災害時の福祉支援体制整備に向けたガイドライン」がまとめられ、都道府県ごとに災害派遣福祉チームの結成が求められる内容が示されました。さらに、内閣府では2017年3月に「地方公共団体のための災害時受援体制に関するガイドライン」、翌2018年4月には「防災における行政のNPO・ボランティア等との連携・協働ガイドブック」が刊行され、災害時における福祉的な支援体制の構築や多様な被災者支援ネットワークの構築体制が急速に求められている状況となっています。

このような現状から、災害時における保健福祉医療の連携、災害時ソーシャルワークの推進、行政・災害ボランティアセンター・NPOによる三者連携を基軸とした被災者支援の展開、被災者が抱える生活支援課題への地域福祉的な対応など、災害時における地域福祉の展開が重要視される中、「災害時における地域福祉の展開と視点」を本年度の研究テーマとし本研究会を開催します。

【プログラム】

13:30 受付開始

14:00 開会 主催者あいさつ・趣旨説明

テーマ北海道胆振東部地震の被災者ニーズの変遷から見た被災者支援の現状と課題
～35回におよぶ情報共有会議のアーカイブから

北海道胆振東部地震から1年5か月が経過しようとしています。地震発生の翌週、未だ被災地域の混乱が続いている中、道内外の支援者や内閣府を含む各種の行政機関関係者による「情報共有会議」が開催され、被災者支援の展開が図られてきました。2018年、国の防災基本計画が修正され、これら「情報共有会議」の開催や、支援団体間の調整を行う中間支援組織の重要性が明文化されたこともあり、胆振東部地震による情報共有会議の継続的な開催は被災者支援の新たな展開となっています。

これまで35回にわたる情報共有会議では生々しい被災者・被災地の現状や支援機関の苦悩や課題が語られています。1年5か月にわたる被災者ニーズの変遷を踏まえた被災者支援の現状と課題、更には地域福祉のあり方について考えます。

15:30 質疑応答・懇談

16:00 終了・事務連絡

17:00 交流会（事前にお申し込みが必要です）

【交通アクセス】

■北星学園大学までは・・・

地下鉄東西線大谷地駅から、1番出口を出て左手。
サイクリングロードから西へ徒歩5分。

■北星学園大学内の会場までは・・・

会場は「第2研究棟地下」になります。サイクリングロードの正門から入り、右手の建物が第2研究棟になります。

※駐車場はありますが、駐車できない場合もあります。

【お問い合わせ・お申込み】

■北海道地域福祉学会事務局

〒004-0022 札幌市厚別区厚別南2丁目7番28号

一般社団法人 Wellbe Design 内

TEL : 011-801-7450 FAX : 011-801-7451 E-mail : info@hacd.jp



お申込み QRコード →

